

第4学年
国語科書写

単元名 文字の組み立て方を考えよう

教材名 「たれ」や「かまえ」のある文字の書き方

単元の目標

「たれ」や「かまえ」のある文字の組み立て方を理解して書くことができる。

(知識及び技能)

文字の組み立て方について学んだことをもとに、他の文字についても字形を整えることができる。

(思考力、判断力、表現力等)

点画や文字の書き方について知的に理解し、他の学習や日常生活に応用しようとする。

(学びに向かう力、人間性等)

指導のポイント

本単元では、文字の組み立て方について学習する。漢字には「日」「木」のように構造上分割しにくい文字と、「林」「岩」「間」のように分割可能な文字(複合文字)とがある。本単元では、「たれ」や「かまえ」のある文字を取り上げ、各部分の組み立て方を分析的に学習する。自ら発見した法則を発表させたい。

また、まだれ、がんだれ、やまいだれ、しかばねなどには左払いがある。これらの文字の右側には対称となる点画がないことから、下部の中心は、やや右側に位置させることで均衡を図っている。さらに、「かまえ」には、「関」、「医」、「山」、「国」などがある。これらの場合、内側をかまえの中にもうまく収めるように組み立てることが大切である。学んだ知識をうまく活用できるようにしたい。

単元の指導計画

	児童の学習活動	指導上の留意点
1	○「原」の試し書きをする。 ○「たれ」のある文字では、下の部分が右にずれていることを理解する。	●「たれ」の部分とその下の部分の位置関係がどうなっているか分析させる。 ●「原」「店」「歴」「病」「屋」を例に、カードを用いて、上下の関係や中心の位置を理解させたい。
2	○筆圧を感じながら、左払いを練習する。 ○「草原」を練習する。	●「たれ」を書く際に、筆圧や穂先の動きを感じながら書けるよう助言する。
3	○硬筆で「草原」「順序」「海底」を書く。 ○「たれ」が含まれている漢字を練習する。	●「たれ」の含まれる漢字をたくさん発表させ、その中から数文字を選び、熟語を考えさせる。 ●毛筆で練習してきた「たれ」の書き方を思い出しながら、硬筆でも応用できるようにする。
4	○「仲間」の試し書きをする。 ○かまえに対する内側の大きさを考える。	●「かまえ」のある文字では、内側にもうまく収まるように書くことを理解させる。 ●大きさの大小をつけて書いて見せる。
5	○穂先の動きを感じながら、折れを練習する。	●転折部分での穂先の動きを何度も示範して見せる。
6	○硬筆で「国家」「区間」「医学」を書く。 ○「かまえ」が含まれている漢字を硬筆で練習する。	●「かまえ」の含まれる漢字をたくさん発表させ、その中から数文字を選び、熟語を考えさせる。 ●毛筆で練習してきた「かまえ」の書き方を思い出しながら、硬筆でも応用できるようにする。

展開例（本時 1 / 6）

本時の目標		「たれ」のある文字では、下の部分を右にずらして書くことを理解する。	
導入	児童の学習活動	指導上の留意点	
	1	「原」の試し書きをする。	<ul style="list-style-type: none"> ○毛筆の用具の配置と正しい姿勢や筆の持ち方を確認させる。 ○横画、縦画の始筆・送筆・終筆の穂先の向きに着目させる。 ○左払いの穂先の動きと筆圧に注意させる。
展開	2	本時のめあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ○「たれ」と下の部分の位置関係を視覚的に分析し、口頭で発表できるようにする。
	「たれ」と下の部分の位置について考えよう		
	3	たれとその下の部分の位置関係がどうなっているか考える。	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 200px;"> 自分が書いた「原」はどのパターンに近いかな？ </div> <div style="text-align: center;"> <p>① ② ③</p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○①～③のどれがよりバランスよく整っているか考えさせる。 ○下の部分を動かしながら、たれと、下の部分の位置関係を調節させる。
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 200px;"> たれと下の部分の中心をそろえると、文字が右に傾いて見えるね。どうすればつりあうかな。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 200px; margin-top: 10px;"> たれのある文字には、ほかにどんなものがある？ </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> </div> <div style="text-align: center;"> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 150px;"> 下の部分を中心より右にずらすと、たれにぶつからないし、文字のバランスがよくなるね。 </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○たれとその下の部分の位置関係に気をつけて練習できるように、練習用紙を活用させる。「原」「店」「歴」「病」「屋」 ○下の部分の始筆の場所を決めることが大切であることに気付かせる。
4	「原」を練習する。	<ul style="list-style-type: none"> ○机間支援をしながら、姿勢や執筆についても指導する。 ○うまくできない場合には、上部と下部のそれぞれに中心線を入れさせる。 ○数枚練習させる。 	
まとめ	5	清書をして自己評価をする。	<ul style="list-style-type: none"> ○試し書きと清書を比べ、目標が達成できたかどうか振り返らせる。 ○次時の予告を行う。
	6	次時の予定を確認する。 片づけをする。	